

### 今までなかったものが 秋田でつくられている



東日本大震災の停電が開発のきっかけになったスプーンライト。非常時に重宝するスプーンライトだが、日常的に使えるようにカラーバリエーションも豊富。

#### 株式会社 アスター

地方によくある下請け型の製造会社でありながら、高い製造技術で大手企業からの信頼も厚く、また、進取の気性にも富んでいて特許を取得した自社開発技術も少なくない。みずからも技術者である代表者が、地域の雇用を守り人材を育成しながら、次々に新しい技術を生み出していく。

#### 先進技術に意欲的に取り組む社風

横手市平鹿町の株式会社アスターは、高い製造技術を強みにして多くの大手メーカーの家電製品やオーディオ製品の部品製造を手掛けてきた会社だ。長年工場長を務めてきた現在の本郷武延社長が、創業者から会社を引き継ぐ形で一昨年初任に就任している。

アスターはいわゆる下請け型の製造会社であったが、同時に、新しい製造技術の開拓に果敢に取り組む社風も持っていた。日本で青色発光ダイオードが発明されて間もない時期に、これを使って世界で初めてブルーレーザー(ブルーレイ)のピックアップを商品化して世に出したのはアスターだった。未知の領域の製品を出現させるのは至難の業であるが、それを可能にしたのがこの

会社の高い技術力だったとっていいだろう。

#### LEDの有用性に早くから着目

昨年の東日本大震災の際には、長く停電が続く現地の様子をテレビで見て、大急ぎでLEDの卓上ランプを200個製作し、横手市役所を通して釜石市に無償で提供した。十分な光量があって消費電力が少なく、電池2個で200時間は明るさが持続するというLED照明の特性を生かした被災地支援だった。のちにこのランプは「スプーンライト」という商品名で東京の東急ハンズなどでも売られるようになり、1年足らずで1万個以上を売り上げた。

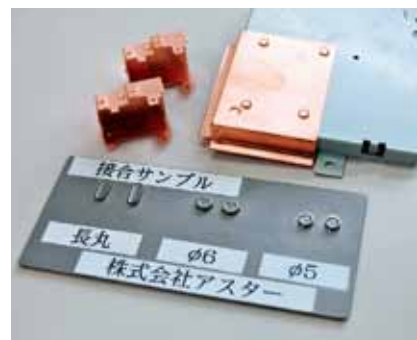
蛍光管型のLED照明も製造販売している。ひとくちにLEDと言っても粗悪品も多いそうなのだが、アスターでは早期にLEDに着目していた製造技術を生かし、高い品質にこだわり、かつ4年の保証をつけて販売している。地域の雇用を守るためにはとにかく多く売らなければいけないということで、薄利多売の考えで国内製品としては格段の低価格に設定している。

#### 独創技術がものづくりに変革を

“カシメ”による接合技術もアスターの独壇場だ。溶接しないで十分な強度で部品同士を接合する工法

#### 株式会社 アスター

〒013-0105  
秋田県横手市平鹿町浅舞字道川北18-3  
Tel.0182-24-1377 Fax.0182-24-0611  
<http://ast-aster.com/>  
E-mail hongotk@ast-aster.com



溶接をしないカシメによる接合は同社の独壇場の接合技術。大手自動車メーカーの部品製造に採用が予定されている(写真上)  
みずからも技術者として、会社経営と技術開発に意欲的に取り組む本郷武延社長(写真下)

は、エネルギー節減、製造設備の簡略化、コストダウン、工程短縮などメリットが少なくない。

アスターではあきた企業活性化センターの事業を利用して、大手メーカーと仲介してもらい、この工法が今後の生産現場で使われる話が検討されている。

今まで世の中になかったものが秋田の地から次々に生み出されていく。なかなか夢のある話である。



スプーンライトは東急ハンズなどでもコンスタントに売れているため生産も追われている